

## YOUは安来で何してる？生徒感想

### —自分の強みで誰かを幸せにしている大人に出会って君が感じたこと・考えたこと—

今日聞いた方のうち2人は県外出身でも安来で活動されていると知り、びっくりした。外から安来を見ることで安来の良いところを見つけることができると思ったので、安来を中からだけでなく色々な視点から見て問題を見つけたい。

今私たちが生活しているのは、みんなが「自分の強み」を活かしているからこそ、私たちの生活が成り立っているのではないかと考えた。

物事を変えるためには自分の考えたり想像していることを表に出したり、やってみることが大切だと思った。

3人の方に共通していたのは、大きな目標を最初から達成しようとするのではなく、今できるほんの小さきことからでもやること。その上で最終目標に近づいていくというふう感じた。

自分のことって客観的に見るのが難しく、強みや特徴が分からなかったけど、自分以外の周りにいる人のことを見ることで新しいキッカケが見つかると思った。

「幸せにしている誰か」は他人だったのに、みんなその仕事や活動にやりがいを感じておられた。そういう人たちは自分のことをよく分かっておられる人だと思うから、他の人の話を聞く前に自分のことを理解してみようと思った。

世界は広いなと感じました。はじめから目標が決まっていってその道に迷わず進める人って本当に少数で、時にはその時の出来事に身を任せたりやめたりしてもいいんだということも学びました。全く違う方向から発想を広げ、そこから色々なところにちらばっていくこの社会のありかたをしっかりと見つめて最終的に将来の道を増やすことができたらいいと思います。

周りを見るのが自分はまだまだあまり出来てないなあと感じた。身の回りには自分が気づいていない課題がたくさんあった。

楽しいことをして楽しく生きていくことが一番と言っておられたことで少し気持ちが楽になった。

自分が将来なりたい職業についたとして、その職業につくことがゴールではなく、その職業で何をするか、どんなことができるんだろうとたくさん考えることが出来てよかったです。

「自分の強み」というのは得意な教科（数学・英語とかじゃなく）、本当に自分の趣味という感じなんだなと思った。それでもつなげてみれば誰かを幸せにする活動ができるということを知れた。

「誰かを幸せにする」ために、自分が経験してみたいと思ったことや改善点を見つけて解決するために頑張っておられる方々がおられるからこそ、私たちが生活できているんだなと思った。

それぞれに課題意識をもっておられ、それに向き合うために必要なのはまずは自分の経験だと思いました。多くのことを経験しそれを生かせる場を見つけていくことが課題解決につながると思いました。

仕事以外で地域に貢献している人がいて、その方が言うにはこれは遊びだ、と。遊びの延長が人のためになったりするので、自分の中で面白いものをつきつめれば人のためになったり仕事になったりすると思ったらずけに仕事がみつきりそうだと思った。

3人の方の違う仕事をしている人からお話を聞いて、その仕事で適したこと、適さないことが見えてきたと思います。その「適さない」部分に自分の強みを活かして行って多くの人を幸せにできれば良いなと思いました。

地域のことだけでなく、SDGsや世界規模で考えている人やわざわざ日本に来て問題をかいけつしていることを知って感動しました。地域と全く関係のない人がやっていることを地域と関係ある人である自分がやらなくてどうすると思ったので、問題の解決をがんばろうと思いました。

普通なら強みといえないものを昇華して利用していて、自分も何かできないか考えた。

自分の考えていることはとても小さいことであり、大人になるにつれて大きいことに挑戦していかないといけないと思った。

みなさん共通しておられたのは「遊び」の感覚でやっていると言われたこと。全員仕事があってその他にボランティアをされているけどゲームのような感覚でとても楽しいと言われていました。誰かのためにやっているというより自分が楽しくて結果として誰かが幸せになっているのがいいなと思いました。

自分達はまだ子供なのに「人が少ない」「金がない」ということを真っ先に見て考えを狭めてしまっていたんだと思いました。

地域の大人たちも皆苦勞され試行錯誤しながら活動されていてかっこいいなと思った。

今までの経験がみなさん生きていて、自分だからこそ考えられるようなアイデアをもっておられた。同じ安来に住んでいるのに知らなかった場所・取り組みが多くあり、本当に自分の周りにしか目がいっていなかったことが分かりました。

どの方も口をそろえて言われるのが「一人ではできない」「～な人に教えてもらって」と周りの人の存在も大切なんだなと感じました。

私は今日まで「なんでできないんだろう」「他の人はできていいな」と思うことが多くあったのですが、お話を聞いて、もっと自分の特徴的なものや、上手にはできないかもしれないけど好きなことをのびしたり考えたりする方が明るい未来にいくのかなと思いました。

「島根」「安来」「自分」の3つの強みをかけ算できていること・ものだと、やってみようという気持ちが強くなる。市は地域の集まりだから、地域内や他地域との関わり合い・つながりが強いとその市全体の理解が強くなる。

人によって見える景色が違うので今まで以上に活動している人が増えれば、安来市全体が活性化すると思いました。しかし安来市は若者が少ない現状が続いているので、それを解決したい。そのためには今まで以上に安来の魅力を他県の人たちに伝えるような活動をしなさいといけないので、まずは安来市の人自分たちの市の魅力をより多く知り共有する場が必要。3万人の人が協力できればもっと活発になる！